



釜山の都心にある「温泉川」周辺は、散歩するのにぴったりな場所だ。特に春から夏は、都心の中で自然を満喫できる空間となっている。自然を満喫した後は、近くのカフェやレストランに寄って美味しい料理とデザートを食べよう。①春の温泉川②温泉川のカフェ通り③カフェの店内から見える温泉川④住宅を改装して作ったカフェ

釜山の道 ①温泉川カフェ通り

花とコーヒーの香りが漂う温泉川

海外へ旅行に行くと、誰もが現地の生活を体験してみたいと思ったことがあるだろう。そんな希望に応えるべく、今月号から釜山市民の暮らしを感じられる「釜山の道」を連載する。まず初めに釜山市民の憩いの場所、温泉川(オンジョン)を紹介しよう。特に春から夏にかけて、釜山市民が最もよく訪れる場所だ。

■都心のオアシス、温泉川市民公園

温泉川は、金井(クムジョン)区の水宮(スヨク)から水宮(スヨク)までを流れる都心の河川だ。川の長さは約15kmで、都市鉄道1号線の久瑞(クソ)駅から東萊(トンネ)駅までは、高架橋に沿って流れている。

釜山広域市は、都心を流れる温泉川の周辺を市民の憩いの場「温泉川市民公園」として造成した。温泉橋から安楽(アラク)橋の間の5km区間に、未舗装の散策路(幅1.5m~2m、約3km)やウレタン舗装の歩道(約2.5km)、サイクリングロード(幅2.5m~3m、約5km)など温泉川の川辺に沿って設置されている。

その他にもインラインスケートやバスケットボール場、サッカー場、バドミントン場、水遊び場などがあり、体育施設やお年寄りの憩いの場、音楽噴水、飲水台、飛び石、自然学習所などもある。公園には1万9千800㎡の芝生や18種の野生草などが植えられており、春には、黄色い菜の花や赤いつつじなどが華やかに咲き誇る。

■住宅街の合間におしゃれなカフェ、レストラン

市民から愛される場所は必然的に観光名所となり、飲食店などの商業が発達する。それは、温泉川通りが活性化される理由の一つでもある。温泉川の downstream 付近の蓮山(ヨンサン)橋~安楽橋区間の住宅街に作られた温泉川カフェ通りには、甘いデザートと香ばしいコーヒーを楽しめるカフェが20カ所ほど立ち並ぶ。その他にも韓国料理店やレストラン、日本料理店など、さまざまな飲食店がある。既存の建物を建て直したり、住宅などをリノベーションしたりとおしゃれで雰囲気のいい店が集まっている。

休日になると家族や恋人たちは、公園の川の両側に咲き乱れる桜や菜の花を鑑賞しながら散歩し、近くのカフェや店でひとときを過ごす。温泉川付近は飲食店の激戦区でもあるため、どの店に行っても個性的で美味しい。

自転車を借りて、温泉川の川沿いを走ってみることもおすすめだ。パスポートなど身分証明書を提示すれば、無料で借りることができる。午前9時から午後5時まで運営し、1日1回2時間まで無料で自転車を借りられる。

○自転車貸出所の位置：QRコード参照



温泉川では春の桜だけではなく、夏には木陰の下を散歩しながらゆったりと時間を過ごし、秋には色とりどりの紅葉と秋の花が華やかに咲く。コロナウィルスが終息し釜山を訪れた際には、釜山の人々の暮らしと余暇を経験してほしい。



※温泉川カフェ通りへ行く方法：東海線安楽駅1番出口を出て、左側を直進。駐車場を左手に更に直進する。駐車場の端からトランシェアパート側の道に渡り、温泉川方面へ10分ほど直進する。